

「夢と愛を未来につなぐまち」を目指して



川西町は、平成16年6月「川西町まちづくり基本条例」を制定し、町民の皆さんと行政（役場）が、情報の共有を図り、互いに信頼し、連携しながらまちづくりを進める「協働のまちづくり」を推進してきました。

平成18年度から始まる第4次川西町総合計画では、計画づくり、進行管理、改善見直しと事業の推進において、多くの町民の皆さんにご協力をいただき、大きな成果を残すことができました。

平成28年度スタートする「かわにし未来ビジョン」（第5次川西町総合計画）は、地方分権改革が進む中、町独自の施策として、町の現状や課題を分析し、その課題への対応と町の発展を目指す計画となっています。

現在日本は、人口が減少する一方、国民の「長寿化」による少子高齢化が進行しています。また、地方から東京圏への人口の一極集中が進んでおり、特に若者の都市部への流出は、少子化に一層拍車をかけており、これらの対策が求められています。

国は平成26年12月、50年後の日本の人口を1億人維持する「長期ビジョン」とその対策を示す「総合戦略」を決定しました。「かわにし未来ビジョン」では、国が求める「まち・ひと・しごと創生法」と整合性を図り、人口減少、少子高齢社会の克服を目標としております。

基本目標「夢と愛を未来につなぐまち ～田園回帰の時代の流れの中で～」には、郷土愛や人間愛を育んできた歴史や伝統文化、豊かな食を生み出す豊穡の大地など、この理想郷アルカディアの里を未来に引き継ごうとする、私たちの意思が込められています。本町の課題である人口減少、少子高齢化を克服し、町の魅力を高め、この町に「人を呼び込む」勢いのあるまちづくりを推進してまいります。まちづくりの基本は「ひと・ちいき・しごと」づくりです。この町で暮らし、働き、ともに喜びあい、次の世代を育て、確かなバトンを渡すことが私たちの使命です。また、まちづくりは、血管を流れる血液のように休むことなく循環し、全町民にエネルギーを送り続けなければなりません。そして、皆さんの期待に応える活力ある町と確かな未来を、築いていかなければなりません。国際化、情報化をはじめとする社会環境の変化は大きく、課題は山積みしていますが、私たちは歴史を切り開くパイオニアとして、町民の皆さんと共に創る「共創」の新たなまちづくりに挑戦してまいります。

「かわにし未来ビジョン」策定に当たり、貴重な時間と建設的なご意見をたくさんいただき誠にありがとうございます。今後ともビジョン推進にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年3月

川西町長 原 田 俊 二

総合計画とは

総合計画は、川西町が進むべきまちづくりの方向を見定め、それに向かって取り組んでいくための指針です。本町の特性や課題、そして時代の流れなどを的確に見極めながら、川西町をどのようなまちにしていけるのか、どのような手法で取り組んでいくのかを取りまとめた計画です。

構成と期間

総合計画は、平成28年度から平成37年度までの10カ年の計画です。
この計画をより実行性のある計画にしていけるために、次の構成で進めていきます。

基本構想

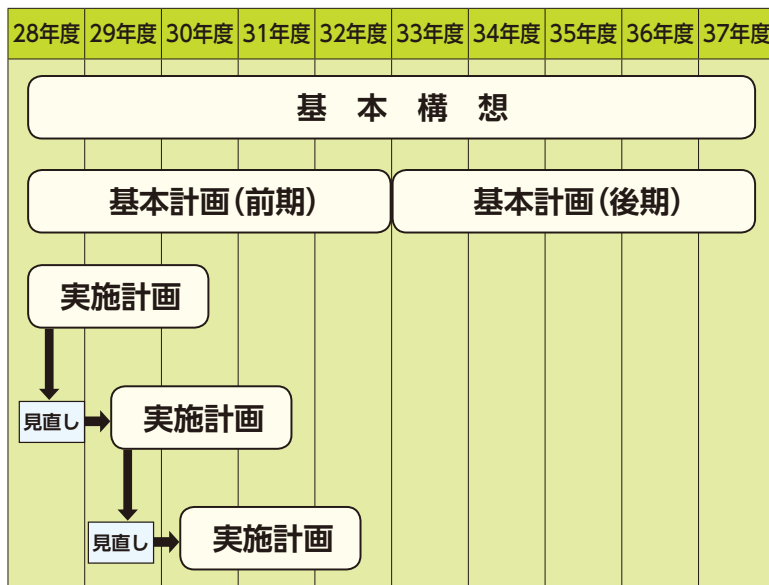
まちづくりの将来を展望し、基本目標、分野別目標、施策の大綱を示し、本町が目指すべき方向を明確にするものです。
計画期間は10カ年の計画です。

基本計画

基本構想を具現化するための基本的な施策を体系的に示したもので、今回前期5カ年の計画を策定し、後期計画については改めて策定します。

実施計画

基本計画を実行していくための具体的な事業計画を示すもので、その時々々の行政需要を勘案し3カ年を期間として策定し、毎年、事業の点検や見直しを図りながら効果的な進行管理を進めていきます。



まちづくりの基本理念

本町は、「川西町まちづくり基本条例」に基づき、町民と町が一緒になって地域課題の解決を図るために、それぞれの自覚と責任の下に、その立場や特性を尊重し、協力して取り組む「協働のまちづくり」を基本理念にまちづくりを進めています。

町の将来像

本町の特性である豊かな大地（緑）は、いにしえより受け継がれてきた自然豊かな山々が育む里山の恵み（丘）を受け、ここに住む一人ひとりが知恵と共に支え合う心（愛）によって、大きな夢と希望が享受でき、安心して暮らしの営みができます。こうしたまちづくりを将来にわたり継承していくことが私たちの使命であり、町の将来像を「緑と愛と丘のあるまち」とします。

緑と愛と丘のあるまち

まちづくりのテーマ

本町のまちづくりの基本理念は、町民と行政が一緒になって進めていく「協働のまちづくり」です。
総合計画では、この「協働のまちづくり」に加え、この町に関わる全ての人がこれまでに培ってきた能力や経験を様々な形で発揮して、新しい魅力を創造、発展していく「共創」という理念を取り入れながら、人を磨き、地域を磨くことで、「協働のまちづくり」をさらに充実、成熟していく必要があり、こうした考え方を踏まえ、これからのまちづくりのテーマを「「協働」そして「共創」へ」とし、まちづくりを進めていきます。

「協働」そして「共創」へ



●発行 平成28年3月
●発行 山形県川西町
（ダイジェスト版）
かわにし未来ビジョン



ダイジェスト版

（第5次川西町総合計画）

かわにし未来ビジョン

基本目標

「夢と愛を未来につなぐまち」
～田園回帰の時代の流れの中で～

町では、次の10年間のまちづくりの指針となる「かわにし未来ビジョン(第5次川西町総合計画)」を策定しました。新しい計画では、人口減少・少子高齢化を克服し、これからもこの町に住み続けていくために、これからの新たな時代に向かって**挑戦する心＝「夢」**と**支え合いの協働の心＝「愛」**を**次世代＝「未来」**へ守り、つないでいくことで、持続可能なまちづくりの実現を目指していきます。

基本目標の実現に向けて重視する3つの視点と分野別目標

視 点		
ひとづくり	ちいきづくり	しごとづくり
分 野		
教育・文化・福祉・健康	生活・環境・都市基盤	産業振興・雇用創出
目 標		
「集まる」まちをつくる	「楽しい」まちをつくる	「挑戦する」まちをつくる

住む人が自分達の地域に対して「誇り」を持ち、訪れる人が、本町が持つ魅力に「憧れ」を抱くまちづくりを進めることで、人と魅力が「集まる」まちを目指していきます。

施策の柱

- ①**未来を担うひとづくり**
人材育成・交流促進・学びの創造
- ②**女性が輝く社会づくり**
女性が活躍しやすい環境整備
- ③**子供が夢を持ち健やかに育つ環境づくり**
連携した教育環境の整備
- ④**生涯現役で生活できる健康元気づくり**
健康づくり・医療、福祉の充実
- ⑤**川西ブランドづくり**
郷土の誇りづくり・地域資源の活用

人と人との関係が豊かで安心して生活できるコミュニティが形成され、快適な生活が送れる環境づくりを進めることで、「楽しい」地域、「楽しい」生活のあるまちを目指していきます。

施策の柱

- ①**地域を支える自立したコミュニティづくり**
地域づくり・コミュニティの維持
- ②**快適で住みよい環境づくり**
生活環境の整備・総合的な雪対策
- ③**時代に応じた都市機能づくり**
都市機能の整備・充実
- ④**安全で機能的な交通ネットワークづくり**
道路交通網の整備促進
- ⑥**安全安心な暮らしづくり**
防犯、防災体制の充実、交通安全

住む人と事業所、行政等が一緒になって何事にも「挑戦する」気運や「挑戦できる」環境を醸成することで、暮らしの経済活動が活発に営まれ、地域の活気と賑わいに満ちたまちづくりを目指していきます。

施策の柱

- ①**豊かさをもたらす強い農業づくり**
戦略的農業経営・生産体制の確立
- ②**相互に連携する産業づくり**
農商工業の振興・産業間の連携
- ③**多様な仕事を生み出す戦略づくり**
企業誘致・起業家の発掘・エネルギーの利活用
- ④**魅力ある観光づくり**
観光振興・ふれあいの丘整備
- ⑤**効果的で効率的な行政運営づくり**
公共施設整備・行財政改革・広域行政の推進

まちづくりの推進を図る主要プロジェクト

地域経済活性化	移住・定住促進	生涯現役	女性にやさしいまちづくり
豊かな暮らし 人や企業から選ばれる活気あふれるまちの実現を目指した取組を進めます。 ○農商工業の振興 ○6次産業化の推進 ○創業、企業支援 ○雇用の確保 など	川西ファンの拡大 住んでみたい、住み続けたい、住み続けることができるまちを目指した取組を進めます。 ○定住の促進(転出の抑制) ○移住の促進(転入の促進) ○交流人口の拡大など	みんなが主役 百歳万歳、健康で生きがいを持ちながら心豊かに充実した生活を送ることができるまちを目指した取組を進めます。 ○活気あふれる地域づくり ○健康づくりの推進 ○生きがいの創造など	女性の活躍 女性が住みやすい、住み続けたいまちを目指した取組を進めます。 ○妊娠、出産、子育て支援の拡充 ○女性が活躍できる環境の整備など